

活動レポート

北方海域技術研究委員会

文責：北方海域技術研究委員会幹事長 松本英明

長野章氏叙勲記念講演会・祝賀会の報告

1. はじめに

北方海域技術研究委員会では、2017年(平成29年)10月23日(月)、ホテルオークラ札幌にて、NPO法人マリネットワークの後援のもと「長野章氏叙勲記念講演会・祝賀会」を開催しました。

この企画は当研究委員会で相談役を務められる、(一社)全日本漁港建設協会会長の長野章氏が今年春の叙勲にて瑞宝中綬章を受章されたことを記念したもので、記念講演会には122人名の関係者(うち日本技術士会会員32名)が出席しました。

以下にその内容をご報告します。



写真-2 若林代表による開会挨拶



写真-1 受付の様子



写真-3 北原幹事による経歴紹介

2. 記念講演会

記念講演会は、北方海域技術研究委員会の北原幹事の司会により行われました。

まず若林代表が開会挨拶を行い、その後、北原幹事による長野章氏の経歴紹介が行われました。

長野章氏による記念講演は「『いままで』と『これから』の『わが国すいさんとみなと(漁港)』のはなし」と題して、約1時間行われました。

まず「いままで」の取組として、水産庁・北海道開発局・公立はこだて未来大学などで実践された災害からの復興、北海道マリナビジョン、トレーサービリティなどの水産業を核とした地域振興への取組について紹介されました。

そして「これから」のはなしとして、東日本大震災の復興と、漁港建設業界の活性化を軸に、水産業や漁港整備についての持論を展開されました。

とくに東日本大震災のレジリエンス(回復力)について、三陸沿岸は過去に幾度も津波被害を受けてきたものの、様々な技術によって復興を支えてきたことに言及し、東日本大震災では各地に整備された高度衛生管理型漁港の有効活用と、トレーサビリティなどICTの活用、更には陸上養殖によって計画的な生産・供給体制を確立していく事が重要であると指摘しました。

最後に、これからも仕事・研究と並んで趣味の剣道やマラソンを続け、一真にして一生でがんばりたいと締めくくりました。



写真-6 齊藤副代表による閉会挨拶



写真-4 長野章氏による記念講演

3. おわりに

このあと祝賀会が行われ、様々な関係者らが長野氏の功績を称えながら、さらなる活躍を期待されました。

最後に、企画立案にあたって様々な助言を頂いたNPO 法人マリネットワーカー、記念講演会・祝賀会でご挨拶いただいた関係者の方々、そしてご多忙な中、記念講演会の依頼を快諾していただいた長野章氏に心から御礼申し上げます。



写真-5 熱心に聞き入る参加者



写真-7 祝賀会の様子

盛大な拍手とともに記念講演が幕を閉じた後は、当研究委員会の齊藤副代表による閉会挨拶が行われました。